

1 県民の命と尊厳を守る 2. 子どもの健やかな成長を支える環境づくり

(3) 児童虐待防止・社会的養育の推進

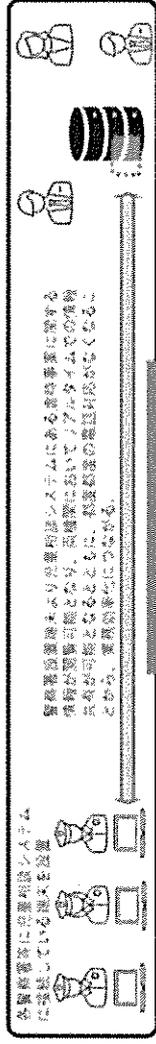
児童虐待防止・社会的養育の推進については、児童虐待通告時に必要な情報を迅速に児童相談所から警察へ提供するためのシステムを構築するとともに、引き続き国児学園や北勢児童相談所・一時保護所の施設整備を進めます。



児童虐待防止・社会的養育の推進

- ① (一部新) 児童相談所管理運営事業 (子ども・福祉部) 281,274千円
 - ・ 国の「新たな児童虐待防止対策体制総合強化プラン」に基づく専門職の人員確保に対応
 - 新** 児童相談業務の効率化を図るため、北勢児童相談所においてネットワーク環境を整備
 - ・ 老朽化の進む北勢児童相談所・一時保護所の建て替えに向けて、詳細設計等の実施
- ② 国児学園運営事業 (子ども・福祉部) 180,146千円
 - ・ 入所児童の生活環境の改善を図るため、老朽化が進む寮舎等の建て替えに向け、一部の寮舎の解体工事に着手
- ③ (一部新) 児童一時保護事業 (子ども・福祉部) 382,402千円
 - 新** 一時保護児童の安全を図るため、防犯カメラを増設
 - 新** 学校のオンライン授業やタブレット端末を使用する学習に対応するため、中央児童相談所一時保護所に無線LANを整備

- ④ (一部新) 家族再生・自立支援事業 (子ども・福祉部) 56,489千円
 - 新** 社会的養護経験者等が施設等退所後に孤立することがないよう、新たに自立支援拠点を整備し、相互交流の場の提供や相談支援を実施
- ⑤ (一部新) 児童虐待的対応推進事業 (子ども・福祉部) 311,277千円
 - ・ 児童相談所の中核を担う中堅職員向けの研修等を拡充
 - 新** 法定研修の実施を外部事業者に委託し、職員の業務負担を軽減
 - 新** 警察との連携強化を図るため、児童相談所児童記録システムの改修を実施
 - 新** 従来のアドボケイト派遣に追加して、処遇検討段階における弁護士によるアドボケイトを実施



警察との連携強化のイメージ

県民の命と尊厳を守る 1. 安全・安心な暮らしの実現

(3) 防犯等安全・安心の確保

交通安全対策

⑤ (一部新) 交通安全運動推進事業 (一部) (環境生活部) 3,290千円

新 自転車及び特定小型原動機付自転車利用に係る交通事故の防止、交通事故による被害の軽減等を図るため、「三重県自転車安全利用条例 (仮称)」の制定に向けた検討を実施

⑥ (新) 外国人運転者に対する交通安全教育事業 (警察本部) 5,071千円

新 外国語による交通安全啓発動画及びリーフレットを作成し、交通安全教育や広報啓発の場で活用することにより、外国人が当事者となる交通事故を防止



外国語による交通安全啓発動画 (イメージ)

7か国語 (英語、ベトナム語、ポルトガル語、シンハラ語、中国語、タガログ語、インドネシア語) に対応

⑦ (新) 子どもを守る疑似体験交通安全教育事業 (警察本部) 5,344千円

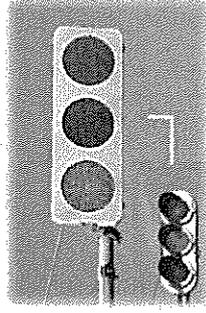
新 中学生・高校生を対象として、通常、体験が困難な交通事故をVRで疑似体験させることで、交通事故防止に向けた危険予測能力を高めるとともに、基本的な交通ルールの習得を図る



VR動画 (イメージ)

⑧ 交通安全施設整備事業 (警察本部) 3,019,451千円

- ・信号灯器用電球 (白熱球) のLED化を計画的に実施
- ・中長期的な計画に基づき、信号制御機、信号柱などの交通安全施設等の適正な維持管理の実施



信号機のLED化

1 県民の命と尊厳を守る 2. 子どもの健やかな成長を支える環境づくり

(4) 子どもが豊かに育つ環境づくり

子どもが豊かに育つ環境づくりに向けて、令和7年3月に改正した「三重県子ども条例」に基づく子どもの意見表明を促進するための取組や、市町の5歳児健診の実施に向けた支援、読書活動を進めるための取組を進めます。

子どもが豊かに育つ環境づくり

① (一部新) 子どもの育ちの推進事業 (子ども・福祉部) 54,598千円

- 子どもが自ら必要な情報を得られるよう、子どもに関する施策の情報を一元化したポータルサイトを整備
- 子どもだけで構成する会議体「みえっこ会議」を三重県誕生150周年記念事業に位置付け、三重県の未来に向けた発表を実施

② (一部新) 出産・育児まるっとサポートみえ推進事業 (子ども・福祉部) 61,711千円

- 5歳児健診実施の中心となる市町の保健師等を対象として、5歳児健診の具体的な進め方や留意点など、健診実践に必要なスキルを身に付けるための研修を実施
- 5歳児健診の実施に必要な医師を確保することが困難な市町に対して、医師派遣を支援
- 派遣する医師に対して、5歳児健診に必要な知識を取得する研修を実施
- 妊産婦へのレスパイトの場や助産師からの育児指導を提供する「妊産婦のほっとスポット構築モデル事業」を実施

③ (一部新) みえ子ども・子育て応援総合補助金 (子ども・福祉部) 330,424千円【再掲】

- 市町が地域の実情等に合せて工夫を凝らして実施する、子ども・子育て支援事業に対して引き続き補助
- 自己肯定感など子どもの育ちや子育て環境の充実につながる取組と、保育士確保をはじめとする仕事と子育ての両立に向けた取組の2つの柱を設けて支援

④ (一部新) 子ども医療費補助金 (医療保健部) 2,480,583千円

- 子どもが安心して必要な医療を受けられるよう、市町補助の対象を、中学生通院医療費まで拡大 (補助率1/8)

⑤ (一部新) 子どもと本をつなぐ環境整備促進事業 (教育委員会) 2,518千円

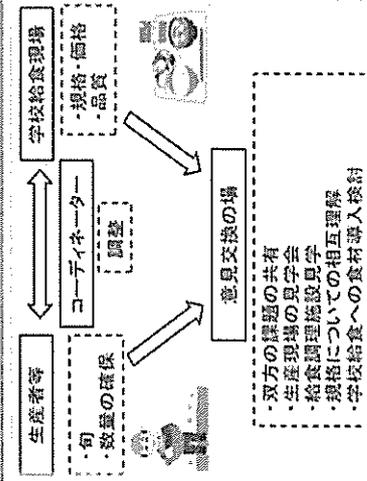
- 生徒自ら企画する、県立学校図書館により多くの生徒が読書本を読んでもらう取組への支援



図書館における講演会の様子

⑥ (新) 地場産物の学校給食での活用等に向けた連携モデル事業 (農林水産部) 5,064千円

- 学校給食への地場産物の活用促進に向けて、生産者と栄養教諭、市町等、関係機関で構成する意見交換の場を設定
- 生産現場と学校給食現場をつなぐコーディネーターを設置



1 県民の命と尊厳を守る 2. 子どもの健やかな成長を支える環境づくり

(2) 困難な状況にある子どもや家庭への支援

困難な状況にある子どもや家庭への支援として、ヤングケアラーへの支援や、子どもたちの多様な居場所づくり、いじめ対策等に係る学校問題ADR（裁判外紛争解決手続）の導入に取り組みます。

安全・安心な居場所づくり

① (一部新) ヤングケアラー支援事業 (子ども・福祉部)

19,741千円

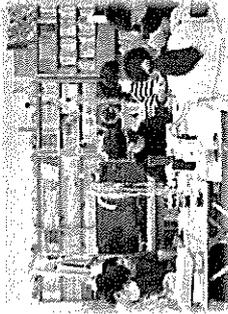
● ヤングケアラーへの支援体制を強化するため、ヤングケアラーSNS相談窓口を設置

● ヤングケアラーへの寄り添った支援を行うため、当事者や支援者を対象としたオンラインによる交流会を開催

② (一部新) 子どもの居場所支援事業 (子ども・福祉部)

27,600千円

● 中高生世代を中心に利用できるキッチンカー等を活用した移動式の居場所を学校近隣において運営
・ 不登校児童生徒等の居場所づくり支援として、フリースクール等民間施設運営団体の運営費を補助



フリースクール

不登校児童生徒等にとって安心して過ごせる居場所を確保

③ 子どもの貧困対策推進事業 (子ども・福祉部)

55,380千円

・ 子ども食堂等の子どもたちの居場所が持続可能な取組となるよう、アドバイザー派遣や勉強会を通じた人材育成支援を行うとともに、財政的な支援を実施



子ども食堂

いじめ・不登校対策

④ (一部新) いじめ対策推進事業 (教育委員会) 27,972千円

● 子どもたちの育成に向けて、県立学校と保護者との連携が円滑に進まない事案に対し、学校問題ADR（裁判外紛争解決手続）や弁護士による代理対応により、学校を支援

⑤ (新) 私立学校いじめ防止対策支援事業 (環境生活部)

6,755千円

● 生徒指導担当教員等を対象に事例等から学ぶ機会を提供するなど、私立学校におけるいじめへの対応強化を支援

⑥ (一部新) 不登校対策事業 (教育委員会) 88,413千円

⑦ 私立学校不登校児童生徒支援事業 (環境生活部) 540千円

・ 新たに校内教育支援センターを設置する公立小中学校に対し、指導員の配置や環境整備を支援するとともに、指導員が不登校児童生徒に対して適切かつ効果的な支援ができてきたよう研修を実施
・ フリースクール等で学ぶ子どもたちの体験活動等の支援や、フリースクールを利用する経済的事情がある世帯を支援

● 不登校の子どもたちの保護者を専門的な支援機関につなぐためのやりとりを行うAIチャットの実証事業を実施

⑧ (一部新) 早期からの一貫した教育支援体制整備事業

18,505千円

(教育委員会)

● 県立高校において通級指導等を担当する教員の専門性を高められるよう、研修の取組を強化

1 県民の命と尊厳を守る 2. 子どもの健やかな成長を支える環境づくり

(1) 幼児教育・保育の充実

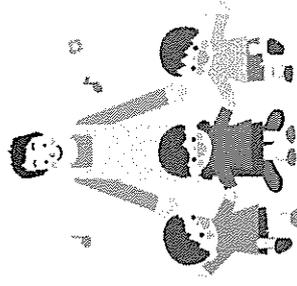
幼児教育・保育の充実に向けた保育士確保対策として、保育の魅力発信や、「みえ子ども・子育て応援総合補助金」による市町への支援を強化します。

保育士確保対策

① (一部新) 保育対策総合支援事業 (子ども・福祉部)

765,050千円

- 新** 新たな保育士の確保に向けて、中高生を対象に現役保育士との交流や仕事体験などの保育の仕事の魅力を発信・保育士をめざす学生等への修学資金の貸付を実施
- 保育士支援アドバイザーを保育現場に派遣し、職場環境の改善を進めるための相談支援を実施
- 新** 保育士の離職を防止するため、人間関係や業務に関する悩みを抱える保育士個人に対する相談支援を実施
- 保育補助者の雇上げや、配慮が必要な児童の受入れのために保育士を加配している私立保育所等へ補助
- 潜在保育士に対する求職情報等の提供や保育所等とのマッチングを実施
- 新** 潜在保育士の復職を後押しするため、復職した保育士の就労までのプロセスを動画で紹介



② (新) 地域限定保育士試験実施事業 (子ども・福祉部)

8,752千円

- 新** 県内で保育の仕事に就くことを希望する人の保育士試験の受験機会の拡大を図るため、地域限定保育士登録後3年間は登録した都道府県でのみ就労できる地域限定保育士制度を新たに導入

県内における保育士確保の推進

保育士試験 (通常試験)

試験
筆記+実技
(音楽・造形・言語から2科目)

地域限定保育士試験

筆記+保育実技講習会
(音楽・造形・言語・見学研修
計27時間以上)
※講習会を修了すると実技試験免除

保育士試験と地域限定保育士試験の違い

仕事と子育ての両立に向けた取組

③ (一部新) みえ子ども・子育て応援総合補助金

(子ども・福祉部)

330,424千円

- 市町が地域の実情等に合わせて工夫を凝らして実施する、子ども・子育て支援事業に対して引き続き補助
- 新** 自己肯定感など子どもたちの育ちや子育て環境の充実につながる取組と、保育士確保をはじめとする仕事と子育ての両立に向けた取組の2つの枠を設けて支援



保育の様子

II 未来を拓く 5. 実効性のある人口減少対策の推進

(1) ジェンダーギャップ解消

経済分野のジェンダーギャップの解消に向けて、令和7年度に策定予定の「三重県ジェンダーギャップ解消基本戦略」に基づき関連施策を推進します。

ジェンダーギャップ解消

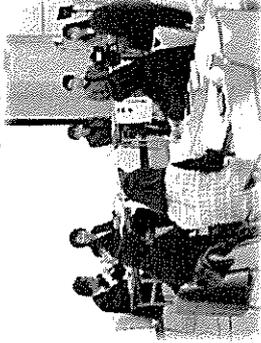
① (一部新) 人口減少対策費 (政策企画部) 74,861千円

- 令和7年度に策定予定の「三重県ジェンダーギャップ解消基本戦略」をふまえた具体的な施策を体系的に実施
- 先進的な取組をすすめる若手経営者等をロールモデルとしたプロモーションや産学官と連携した実践的な取組の実施
- ジェンダーギャップ解消に向けた取組の事例の検討

各主体の意識変革を促進

② (一部新) ジェンダーギャップ解消!! HAPPY☆CYCLE事業 (環境生活部) 18,642千円

- ジェンダーギャップを解消し、誰もが家庭でも仕事でも活躍でき、性別役割分担にとらわれない働き方が県内企業で進むよう、積極的に取り組んでいる経営者と連携し、意識変革に向け、企業トップ・リーダー層を対象としたワークショップ等を実施
- 働く女性を対象とした階層別の講座やロールモデル交流会を行い、女性のキャリア継続やキャリアアップを支援
- 若年層とその親世代を主なターゲットとした啓発を行い、進路選択時のアンコンシヤス・バイアスの解消を推進



ロールモデル交流会(令和7年)

③ (一部新) 働き方改革総合推進事業 (雇用経済部) 30,895千円

- 働き方改革などに取り組みむ企業等に「みえの働き方改革推進企業」としての登録を促進し、優良事例を表彰するとともに、取組に応じて働き方改革推進奨励金を支給
- 短時間正社員制度のモデル事例の周知を実施

④ (一部新) みえ子ども・子育て応援総合補助金 (子ども・福祉部) 330,424千円【再掲】

- 市町が地域の実情等に合わせ工夫を凝らして実施する、子ども・子育て支援事業に対して引き続き補助
- 保育士確保をはじめとする仕事と子育ての両立に向けた取組など2つの枠を設けて支援
- これまで総合補助金を活用して実施された取組の中で、先駆的で効果が高いと認められる「働く子育て世帯を支える子どもの居場所づくり」について、新たな補助制度により市町を支援することで横展開を促進



保育の様子

⑤ (一部新) 男性の育児参画普及啓発事業 (子ども・福祉部) 19,229千円

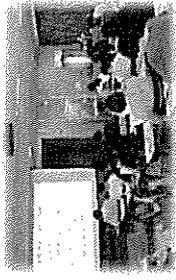
- 育児にかかわる役割分担を中心に、結婚、子育てや生涯設計等、ライフデザインについて若者自らが考えられる機会を提供するワークショップ形式のセミナーを大学等で実施

1 県民の命と尊厳を守る 1. 安全・安心な暮らしの実現

(2)医療・介護提供体制の確保、健康づくり

医療・介護人材の確保・育成や偏在の解消に取り組むとともに、安心して出産できる体制の確保や新興感染症に対応するための体制整備に取り組みます。

医療人材の確保・偏在解消	
① (一部新) 医師確保対策事業 (医療保健部) (2月補正を含む額 1,673,565千円)	① (一部新) 外国人介護人材確保対策事業 (医療保健部) 82,110千円
<p>新 重点医師偏在対策支援区域の医療機関に対して、開業・承継に係る施設整備等や、土日祝日の代替医師確保に要する費用への支援</p> <p>新 「医師偏在是正プラン」の策定に向けて、年齢階層別受療率を用いた地域別の患者予測などのデータ分析を実施</p> <p>新 生産性向上を図り医療人材の確保・定着につなげるため、ICT機器等の導入等の取組を行う病院への補助</p>	<p>新 インドネシアとのMOUに基づき、マッチング支援や県内施設でのインターンシップを実施</p> <p>・県内で就労を希望する外国人介護人材と受入希望施設等とのマッチングを支援</p> <p>・外国人介護人材の有望な送出国でのPRセミナーの開催</p>
周産期医療体制の整備	
② (一部新) 看護職員確保対策事業 (医療保健部) 210,542千円	⑥ (一部新) 小児・周産期医療体制強化推進事業 (医療保健部) 336,317千円 (2月補正を含む額 817,097千円)
<p>新 助産師の就業場所や地域偏在の解消を目的とした応援出向を支援</p> <p>新 領域別・地域別の採用力向上セミナーや、プラチナナースや看護補助者の活用に向けたセミナーを開催</p>	<p>新 施設数が少ない地域の分娩取扱施設に係る施設・設備整備を支援</p> <p>新 事業承継を行う分娩を取り扱う医療機関への定着支援を実施</p> <p>新 分娩数が減少している施設に対し、継続するための費用を支援</p>
新興感染症対策	
③ (一部新) 薬剤師確保・資質向上事業 (医療保健部) 19,525千円	⑦ (一部新) 防疫対策事業 (医療保健部) 595,192千円
<p>新 県内の偏在地域への就職を希望する薬学生に対し、修学資金の支援を実施</p> <p>新 病院薬剤師の専門・認定薬剤師の資格取得等に係る費用を支援</p>	<p>新 新たな感染症発生時の対応力向上のため、県職員等が実働時に活用する「新興感染症対応マニュアル(仮称)」を策定</p> <p>・新型インフルエンザ等対策特別措置法第10条の規定に基づき、新型インフルエンザ等対策に必要な医薬品を備蓄</p>
④ (一部新) 医療審議会費 (医療保健部) 35,808千円	
新 新たな地域医療構想の策定に向けて、入院・外来・在宅の医療需要や医療提供体制等の調査分析を実施	



看護職員の研修



薬剤師の業務の様子

1 県民の命と尊厳を守る 3. 人権の尊重・福祉の充実

(2)福祉

地域共生社会の実現をめざし、市町における包括的な支援体制の整備を推進するとともに、ひきこもり支援に係る普及啓発や支援体制の充実などを進めます。

福祉

① (一部新) ひきこもり支援推進事業 (子ども・福祉部) 35,375千円

- 新 支援窓口の周知やひきこもりについての理解促進のため、ターゲットイング広告等を活用した戦略的な普及啓発を実施
- 新 ひきこもり当事者交流会を実施し、当事者同士がつながりを持つてる場を提供

② (新) 孤独・孤立対策推進事業 (子ども・福祉部) 3,590千円

- 新 孤独・孤立対策を推進するため、支援に携わる官民の関係機関が、相互に連携、協働するプラットフォームを構築
- 新 孤独・孤立を抱える当事者が参加するシンポジウム・交流イベントを開催

③ (一部新) 障がい者相談支援体制強化事業 (子ども・福祉部) 151,626千円

- 新 障害者支援施設に外部の専門的視点を定期的に取り入れるため、専門家を派遣
- 新 事業所が、重度の強度行動障がいを受入れ、適切にサービス提供・アセスメントを実施できるよう一定の実践経験を有する人材を配置するための支援を実施

④ (一部新) 困難な問題を抱える女性支援推進等事業 (子ども・福祉部) 60,823千円

- 新 「困難な問題を抱える女性」を対象としたSNS相談窓口を開設

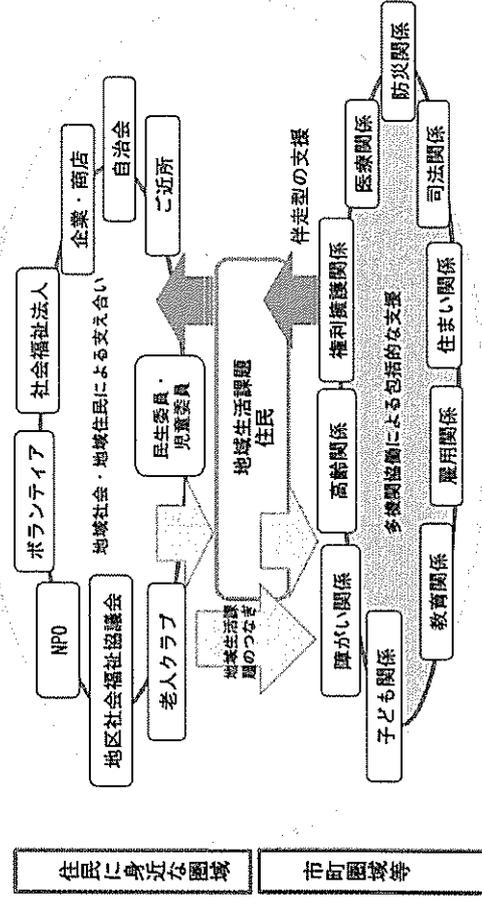
⑤ (一部新) 包括的支援体制整備支援事業 (子ども・福祉部) 14,850千円

新 市町における包括的な支援体制の整備が一層進むよう、福祉分野のみならず他分野の関係機関、関係団体と連携し、県内に共通する諸課題の解決に取り組む市町が行う先進性や有効性の高い取組をモデル事業として支援

- ・「リンクワーカー」の取組も参考にしながら、社会的処方への考えも取り入れた研修を拡充するとともに、市町へのアドバイザーを派遣

地域共生社会の実現に向けた支援体制の整備

「みんなを広く包み込む地域社会 三重」イメージ



包括的な支援体制の整備イメージ